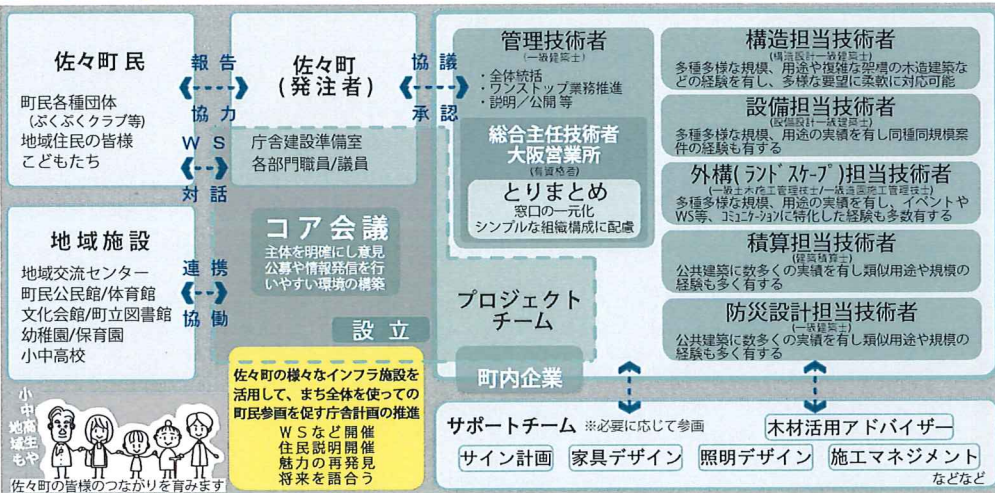


コロナ禍での共有／協働の手法として世代別ワークショップを提案します。各世代の今の声を反映できる機会となり、状況を鑑みでの合同ワークショップにて共有を図ります。

まちの方々と協働にて構内緑化や維持管理を進めます。植生特性の説明／共有を行行い植樹／育成ワークショップを開催します。まちの風景を学び共に育てていきます。

職員の方々と模型やパース実物を用いてイメージを共有しながら執務空間／厚生エリアのあり方を考えます。対話を基盤として快適な環境づくりを進めます。

開催したワークショップ内容等はリーフレット/SNS/まちHPなどで掲載し、まちの方々が参加ができなくても庁舎計画に関わることのできる情報共有／発信に努めます。



	2020(R2)年度										2021(R3)年度										2022(R4)年度	
設計工程	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
	基本設計(5ヵ月)					実施設計(13ヵ月)															実施設計業務完了	
	条件整理		検討案作成		基本まとめ		一般図		詳細設計①				構造設計②				積算・調整				建設工事(発注準備)	
			確認申請		行政事前協議								積算確定(免震)・省エネ				本申請		竣工検査等			
設計業務フロー	と条件書策定		配置/プラン検討決定		検討地質を踏まえたまとめ/基本設計図書作成		一般図/平面断面図のまとめ/構造設備外構計画の訂正/行政申請前の反復/追加改定の調整		平立詳細検討/各種仕様仕様検討/コスト仕様等検討/構造設備外構計画調整/付帯物品等調整				平立詳細検討/各種仕様仕様書/コスト調整/構造設備外構計画調整/付帯物品等調整				最終積算・積算及び調整/各許可申請手続及び費用の反復/各構成費作成/積算見直し資料作成補助				竣工検査等	
コスト管理	明確な目標予算		ヴォリューム市販品チェック		基本設計概算より算出		概算したコスト管理		実施設計概算内容合議				実施設計概算内容合議				本積算 値入 落附調整					
品質確保 デジタル化	DR-0 取扱い方針/顧客事項属内/専任/専任		DR-1 取扱い方針・条件属内/専任/専任		DR-2 取扱い方針・条件属内/専任/専任		DR-3 取扱い方針・条件属内/専任/専任		DR-4 取扱い方針・条件属内/専任/専任				DR-5 取扱い方針・条件属内/専任/専任				情報の確実な公開による社会との良い関係構築				監理業務	
町民協働 協力	WS-1		WS-2		WS-3		WS-4		WS-5				WS-6									
	使い方を一緒に考える		型型/CGを活用し議論を行う		ミニチュアをつくらせてみる		設計内容の見直し				新しい姿に変わっていくイメージを共有することによって、市民参加の意欲が湧き出るようになる											
17会議/検討	検討1 コア1		検討2 コア2		検討3 コア3		検討4 コア4		検討5 コア5				検討6 コア6				検討7 コア7				検討8 コア8	

[illegible]

特定テーマ1：町民に親しまれる、やさしい庁舎

1 階に窓口部用 / 冬の日のアペ

下段(五下段)に於ては利用可能

④ 求定者 $\rightarrow$ 車両速度の2倍の軌道

「ハフバレ凍結」は1階に ニイブニル

さざの丘



利用頻度の高い調を集約し、on7トッ7°#レ7

人数編成に対応可能 わかりやすい

立化会館と正対する広余由中に多目的



占城風を利用した多階宇柱の自然換気

重ねて収納できる



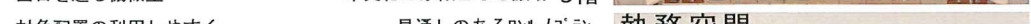
特定テーマ2：町民を守る防災拠点としての庁舎

— 45 —

陸上揚子機能の確保に当たり、ハザードマップに上

災害情報公開
文化会館/地域交流センター

多様な利用が可能な厚生室 東西テラスからは佐々町の雄大



全()の課を集約し、機構改革等

1 課 財 課 12

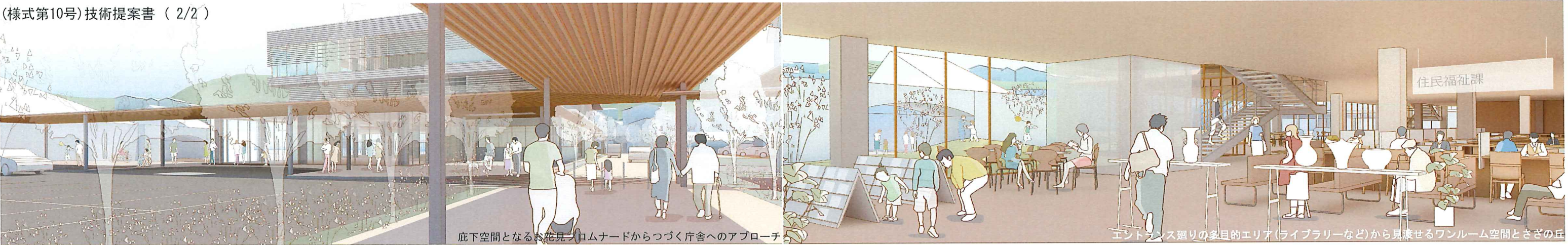
駐南博を相認でき重役諸客に近接した2階南

駐車場 2F:災害対策本部階 3F:庁舎内展開本部階



座室内を4段階のエリアに分け、セキュリティ

1F 2F 3F



底下空間となるお花見プロムナードからつづく庁舎へのアプローチ

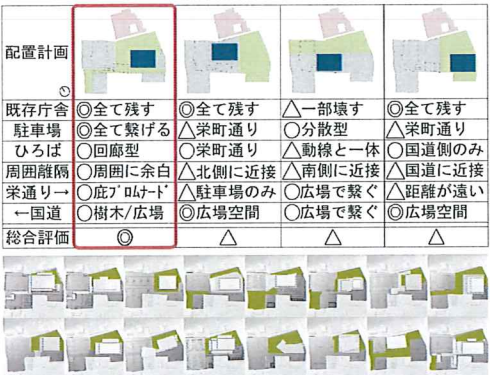
エントランス廻りの多目的エリア(ライブラリーなど)から見渡せるワンルーム空間とさざの丘

特定テーマ3：効率的・経済的な庁舎

建設／維持管理コスト管理における合理的な提案

■シンプルな整形の建物形状

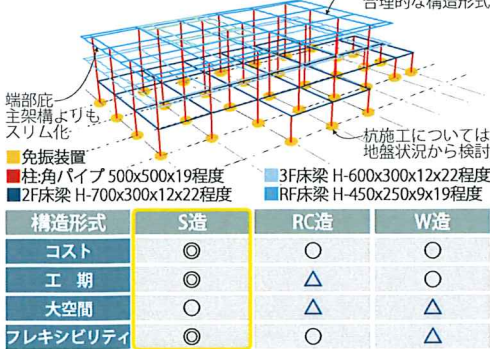
庁舎の配置は、既存建物を先に壊すことの無い敷地中央に計画します。文化会館などの佐々町の公共施設に倣い、シンプルな整形建物・コンパクトなフットプリントの採用にてコスト縮減に寄与します。また、現役場における駐車場計画や各課配置を適宜引き継ぐことで町民／職員の方々にシームレスに使っていただける全ての人にやさしい庁舎となります。



■合理的で無駄のない構造計画

主構造は躯体重量が軽く平面計画の自由度を高める鉄骨造とします。各階の柱割りはモジュールの統一された合理的でシンプルな架構計画とし、部材運搬も容易な計画とします。また、地盤状況を鑑み基礎免震の採用検討をすることで、建物の安全性を高め地震に強い将来性を持った庁舎を実現します。鉄骨造は基礎への負担が低いため全体コストの縮減にも繋がります。その他一部屋根の木造化を図り木材活用にも寄与する庁舎を目指します。

構造主要架構イメージ



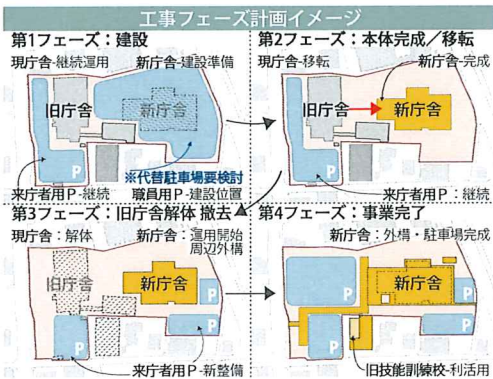
■機構改革等に対応する執務空間

執務空間は、間仕切りの無いフロア全体を有効に活用できる、見通しのある構成とします。南側を職員ゾーンとし、専用動線を設けることで、階を越えての各課職員の業務/コミュニケーションが図りやすい空間とします。書庫は執務空間に近接とし、使用頻度に合わせた文書保管を可能とします。更に、桜並木が見える各階の職員専用の休憩スペース(厚生)が快適な執務環境を支えます。



■既存施設を活かしたフェーズ計画

現庁舎機能を維持しながら安全安心な建設を進める為、段階的な工事フェーズを実現する建物配置とします。現役場や役場別館を取り壊さずに新庁舎建設を進めることで、一時的な移転にかかる経費等の発生を抑制でき事業費削減／将来への有効な活用につなげます。また、新庁舎完成後に移転・運用を開始、移転完了後に解体・西側駐車場／底工事に着手することで、現役場機能の敷地外分散を避けることが可能な無駄の無い計画を採用します。

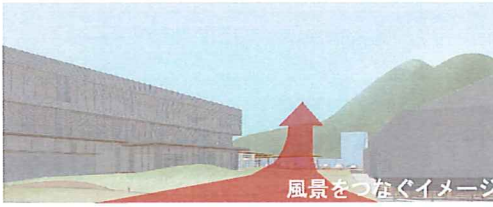


特定テーマ4：環境に配慮し、周辺と調和した庁舎

佐々町の多様な環境と共生するパッシブデザインの庁舎

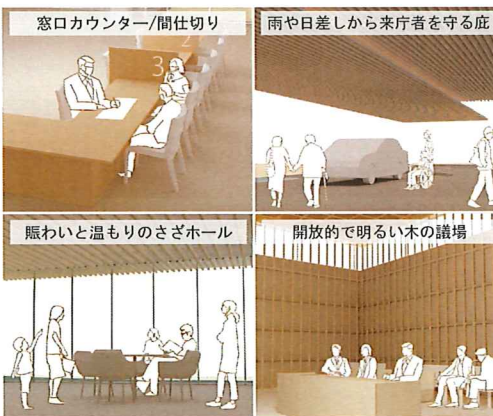
■風景の中で際立つシルエット

子ども達を地域全体であたたかく育て／包込むまち=佐々町の未来を示す象徴として、傘のようにまわりを包込み風景と呼応する形態を採用します。

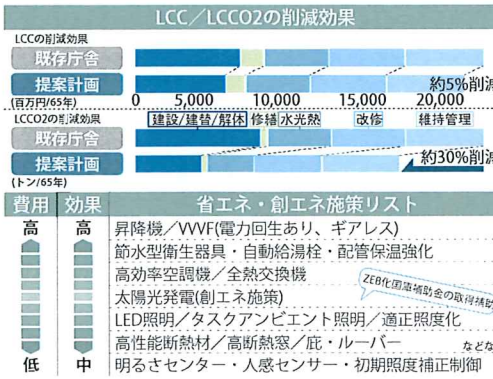


■木の温もり溢れる空間づくり

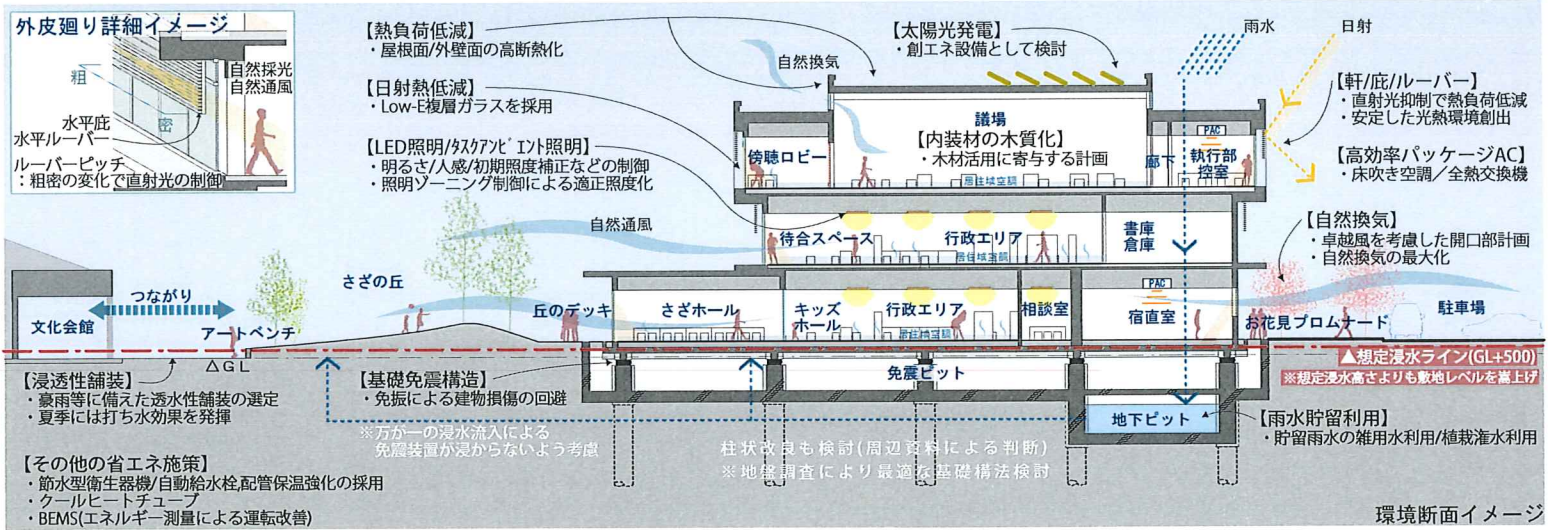
アプローチ／さざホール／議場／窓口など、来庁者の目に触れ、庁舎の要となる場所に地域産木材資源を有効活用した木の温もり溢れる庁舎とします。



費用対効果検証に基づく環境型庁舎
外皮の高断熱化や日射遮蔽水平ルーバー、高効率省エネ設備など費用対効果を考慮し施策選択を行いLCC縮減を図ります。創エネ設備の導入も検討し環境型の庁舎を目指します。

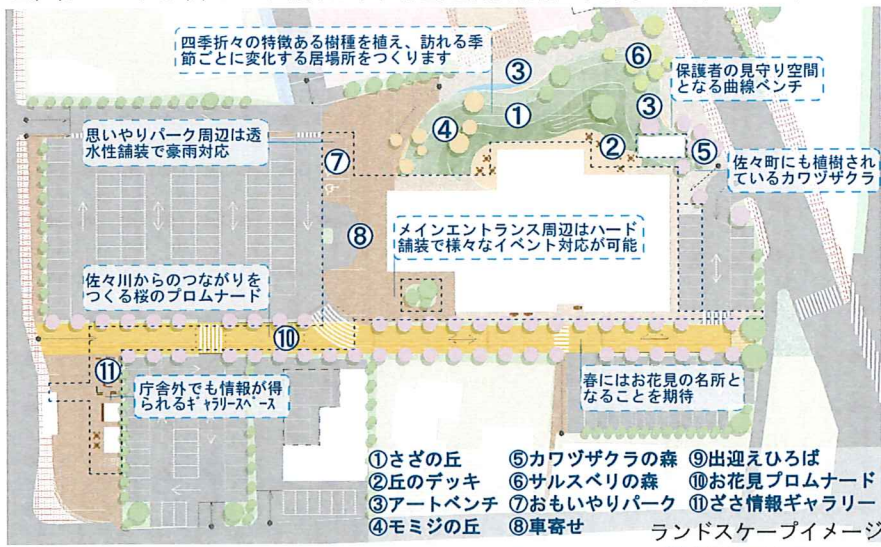


■積極的に自然エネルギー・雨水等の利活用を進めます



■まち全体を考えるトータルランドスケープデザイン

敷地内完結のない、まち全体での庁舎の建ち方を様々な名所を持って構成するランドスケープと共に提案します。まちと共につくる新しい風景は、周辺建物活用／発見に貢献し、敷地を越えたまちなかの新しい居場所づくりに寄与します。



お花見プロムナード
栄町通りより敷地を貫くプロムナードは四季折々の多様な表情を持つ屋根のあるまちの新名所です

さざの丘
さざホールを包む緩やかに起伏を持つ囲われたひろばは、子ども達が安全に遊ぶ場となります

さざ情報ギャラリー
新装佐々駅(観光情報センター併設)と連携しまちの最新情報を発信する場をバス停ひろばに設えます

